

平成30年度ふるさと魅力発見隊第2回「国寿石大子硯手仕上げ体験」が開催されました。

平成30年9月8日（土曜日）、大子町にて「国寿石大子硯手仕上げ体験」が、大子町、大子町特産品流通公社グランだいの共催により開催されました。

日本名硯の一つに数えられる国寿石大子硯は、独特の黒い艶と素朴で美しい石紋が特長で、茨城県伝統工芸品に認定されています。かつて佐竹氏が将軍に献上していたほか、水戸藩2代藩主・徳川光圀公や9代藩主斉昭公にも愛用・保護されるなど、非常に古い歴史を持っています。

今回の活動では、講師として大子硯作家の佐藤岱山氏にご協力いただきました。県内各地から集まった20名の参加者は、それぞれ下掘りされた原石を手に、岱山氏の熱心な指導のもと削り石や紙やすりを使って自分だけの硯作りに熱中していました。

その後、完成した硯で墨をすり、大子町の特産品大子那須楮から作られた葉書を使った書道体験も行われ、参加者は思い思いに書をしたためていました。



硯作家 佐藤岱山氏



岱山氏指導の下、体験スタート



硯作りに熱中する参加者のみなさん

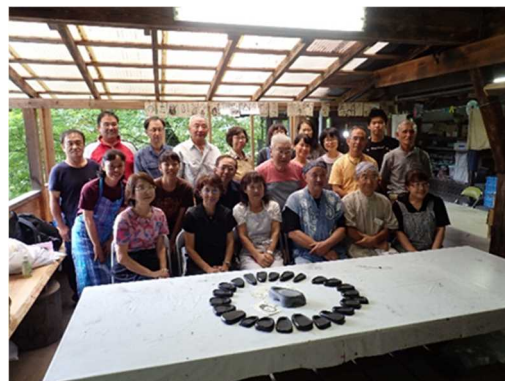


完成した硯で書をしたためる

また、昼食には奥久慈しゃもやアップルパイなど大子町の特産品を数多く使用したお弁当が用意され、硯作りのみならず、大子町の持つ様々な地域資源の魅力について発見する良い機会となりました。



特産品をふんだんに使ったお弁当



岱山氏を囲み記念撮影

今年度は大子町で12月にあと1回、ふるさと魅力発見隊事業を実施予定です。